

まぼろしのメダカ池 (真光寺川つれづれ草4)

能 ケ谷いこい会館の真光寺川沿いの裏木戸のそばに小さな池があるのをご存知でしょうか？これが今回取り上げる「まぼろしのメダカ池」なのです。

2 〇〇1年5月のことだったと思います。晩酌でくつろいでいるところへ神蔵さんから電話がありました。「クジラが取れたよ！皆来ている、来ない!？」早速、神蔵邸へ。タライの底に何やら黒いものがうごめいていました。ナマズだ！優に50cmはあったでしょうか。30分にわ

たる格闘の末ようやく捕獲したと云います。お神楽の練習部屋では既に大漁祝いの酒盛りが始まっていた。メートルは上がり、話題は尽きませんでした。その中で神蔵さんからこんな発言がありました。「真光寺川の川沿いには至る所で綺麗な清水が湧くんだよナ！前々からいこい会館の庭に池を掘りたいと思っているんだ」

こ れが一つの契機でした。早速、会館の幹事をされている小川さんに意向を伝えました。会館の例会に諮った結果一も二もなく賛成だったそ



能ヶ谷いこい会館の幻のメダカ池

うです。ちなみに、当時能ヶ谷町内会長だった中村さんは清流の会に入って下さっていました。

善 は急げ！7月上旬の暑い日でした。神蔵さんが小型のブルドーザーを持ち込み作業にかかりました。幾人かのメンバーも手伝い、1日かかりで地面を掘り、コンクリートを打ち、畳1丈ほどの池が出来上がりました。案の定、綺麗な清水がコンコンと湧きだしました。費用は4万円ほどかかりましたが神蔵さんと清流の会で折半で負担し寄贈することになりました。

清流の会で相談し「メダカ池」と名づけました。あの頃は何かと云うと「真光寺川→メダカ」だったんですね。

1 月余り経ちコンクリートのアクも完全に抜けたようでした。懸案のメダカを放つことになりました。和光小の小菅先生にお願いして、メダカを100匹ほど分けて頂くことになりました。先生は学校の裏手の大きな水槽に正統な鶴見川種のメダカを飼育されていました。

8月、メダカを放ち名実ともにメダカ池の完成です。五条さんがせっせと通いエサをやり飼育に万

全を期しました。

下堰親水の近くにお住まいの鈴木さんは器用な方で早速、表示板を作り向かい側のコンクリートの壁にぶら下げてくださいました。おぼろげな記憶ですが縦50cm・横1M50cm位の木製の板で出来ておりペンキで白く塗られていました。漫画っぽい、メダカの絵の下に真光寺川マップが描かれた見事なものでした。

時 夕池をのぞくと水草の陰にチラチラと魚影が見られ満足を感じました。ところが程なく五条さんからメダカの数次第に減っている

子供が遊べるふるさとの川へ、自然豊かな川の散歩道に、きれいな川にしましょう！

ようだとのお話がありました。

メダカは童謡「メダカの学校」に歌われたように私どもが小さい頃には水たまりや田圃にも普通に見られる魚でした。農薬や生活排水による環境汚染によるのでしょう、殆ど見かけなくなりました。今では絶滅危惧種に指定されているそうです。

私 共は「メダカ池」はメダカにふさわしい環境だと考えていました。しかし鶴見川正統種のメダカにとっては生存が困難な過酷な環境だったのかも知れません。かわいそうなことをしました。

の内いずれも姿が見えなくなってしまうのです。黒田さんが現能ヶ谷町内会長大川原さんからお伺いしたところ、会長のお奥さんから「誰かがカエルを入れたのでしょ。カエルがメダカを食べるところを見たことがあります」と聞いたとのことでした。そう云うこともあったのでしょ。カエルは種類によってそう云う習性があるようです。しょせん・水清ければ魚住まずと云うことではしょか。

そ れでも表示板は数年は壁にぶら下げられ

秋風のたつ頃には「メダカ池」とは名ばかり、メダカ不在の空っぽの池になってしまいました。

し かし完全に忘れさられた訳ではなさそうです。それから幾度か複数の方によって魚を飼う試みがなされたようです。ある時は金魚が水草の影に優雅な姿を浮かべている時がありました。山本さんや岩上さんがカワニナを大量に放流したこともあるそうです。また夏休みの頃になると子供達が放つたのでしょうか。ヨシノボリやコブナが遊泳していることもありましたが

たままでした。雨風に晒されていますのでその内朽ち果て地べたに落ちてしまいました。捨ててしまうのはもったいないので大川先生にお願いして和光小で保管してもらうことにしました。探せば何処か倉庫の隅にでもあるでしょうか。

池 は今でもコンコンと湧く清水をたたえ、何事もなかったようにひっそりと鎮まりかえっています。

文；山口 拓郎

8月・9月の清掃報告

8月14日は曇りのち晴れ、11名が参加し、ゴミを20ℓ入り袋で20袋と鉄パイプや杖を回収しました。前夜台風8号がかすめ、水位10cmほど高くなりましたが、支障は出ませんでした。

下堰親水で市民が準絶滅危惧種に指定されているイシガメが泳いでいるのを見つけました。また清掃中、オニヤンマが飛んでいたとの報告もありました。

9月11日も曇りのち晴れ、13名が参加し、ゴミ15袋と鉄棒2本回収しました。幼児とお父さんとお母さんの3人家族が参加され、川の周囲のゴミを拾ってくれました。清掃中カワセミが高速で飛んで行きました。川辺では彼岸花が咲き始めていました。

11～12月清掃(クリーン作戦)の予定

☆11月13日(日)、12月11日(日)

☆集合：9:30 下堰親水場

(能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏)

☆持物：軍手。その他ごみ袋、火ばさみや長靴など一部用意があります。

☆解散予定 11:00

真光寺川の川の中と周囲の道路のゴミを分担して拾います。

ただしこの日がコロナの緊急事態宣言等の期間と重なる場合には中止といたします。

ご一緒に川をきれいにしませんか

☆真光寺川を清流にする会 代表：山本隆治

事務局：黒田 TEL/FAX：042-708-4269

☆真光寺川を清流にする会のHP

<http://www.shinkojigawa.com/>

e-mail: kawasemi@shinkojigawa.com